

平成28年度 ニシン漁獲物調査速報(2)

水産試験場が実施しているニシン漁獲物調査において得られた情報について、随時お知らせしています。

1月30日までに小樽市漁業協同組合に出荷された漁獲物の測定調査を実施しましたので結果を報告します。小樽市漁協の皆様、ご協力ありがとうございました。

【結果】

1. 漁獲(表1) ここに来てようやく湾奥でまとまるようになり、小樽から石狩寄りにかけて好漁となったようです。型としては①番手(特特大)が610箱、②番手が420箱で、漁獲物全体の平均体重は360gと相当大型のニシンで構成されています。湾沿岸の底水温は2℃前後と依然として低いです。今期の主体と予測している5年魚(2012年級)中心で本格的に湾内に入ってきた状況と考えられます。

2. メスの完熟率(表1)

測定した雌個体はほぼ完熟状態から未熟まで様々でした。前号でふれたように全体的には昨年同時期に比べ成熟がやや遅れているようで、このことが沿岸の漁期遅れにも影響しているようです。

3. 年齢別尾叉長組成(図1)

尾叉長30cmにモードをもつ5年魚(2012年級)が全体の約60%と主体をなしています。序盤のためそれより高齢(2010, 2011年級)の大型魚と合わせた組成となっており、今は2.4寸目くらいが適当な目合となっていると思われますが、次第に5年魚が大半を占める②番手サイズに中心が移っていくのではないかとみています。

表1 銘柄別ニシン漁獲・測定結果

銘柄	①	②	③	④	その他	合計
漁獲重量kg(30日出荷分)	3,050.00	2,100.00	170.00	10.00	6,600.00	11,930.00
漁獲尾数	7,480	6,604	689			14,772
測定尾数	13	17	21	未測定		51
測定尾数(精密)	13	17	21			51
平均尾叉長(mm)	316	298	279			306.5
平均体重(g)	408	318	247			360.1
雌の比率	0.23	0.41	0.29			—
完熟率*	0.33	0.71	0.67			—

*メス全体のうち産卵直前の卵を持つメスの比率

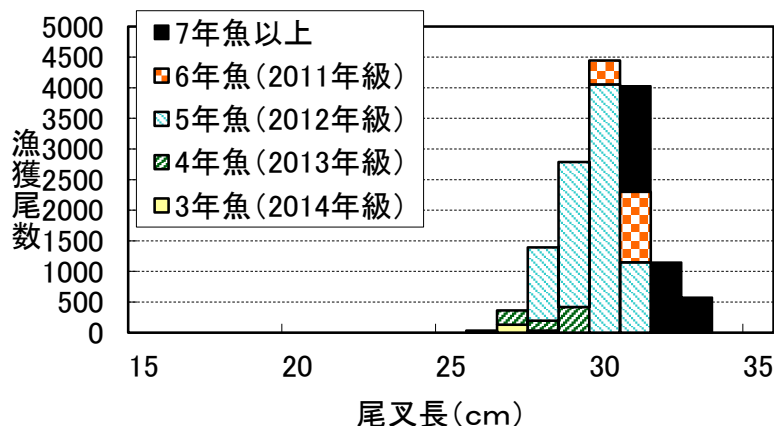


図1 2017年1月30日小樽海域 年齢別尾叉長組成